



FAS住まい新聞

発行責任者
㈱福地建装
北斗市中野通 324
Tel 0138-73-5558
fax 0138-73-8460

◇ 十年一昔 ◇

自動車の窓は以前、ハンドルを回して窓ガラスを昇降させていましたが、現在発売されている大半の自動車には、手元のスイッチ操作で昇降できるパワーウィンドウが標準装備されています。鍵を差込み回して稼働させていたエンジンは、ワンタッチスイッチ式になり、ガソリン車はハイブリットや電気自動車にと、ここ数十年で自動車産業も大きく変わりました。

住宅産業も、品確法（住宅の品質確保の促進等に関する法律）の施行とともに「構造耐力上主要な部分」と「雨水の浸入を防止する部分」の瑕疵を最低10年間、無償補修や賠償責任を負うといった瑕疵担保責任が義務化となりました。

また、シックハウス対策として有効な換気回数を0.5回/h以上の機械換気設備設置も義務化され、これまでは建物の断熱性能を評価していた次世代省エネルギー基準が設備機器をも含め、住まい全体の省エネ性能を評価する基準へと改正されました。

住宅の防犯対策では、ピッキング対策でカードキーやリモコン錠も普及しつつあります。更には、浴槽の湯張りや温度調整を浴室以外からでも操作できるフルオートバスや、シンクの隅々まで綺麗に洗い流せるハンドシャワー水栓など、利便性が高い設備機器へと進化しています。

◇ 進化から革新へ ◇

ファース本部は寒冷地の寒さ対策として断熱・気密の向上に研究開発を始めたのが昭和54年です。従前になかった断熱性能を確立するものの住宅内空気汚染や酸素濃度の低下など、様々な失敗と問題に直面し、その都度改善を行い平成元年、現在の「ファース工法」を開発しました。

当時は、蓄熱量の大きい碎石を床下一面に敷設しておりました。この碎石は、30℃以上の高温や氷点下の低温も限りなく蓄熱してしまう為、私達の住む空間に最適な20℃から30℃の蓄熱に特化した潜熱蓄熱材「タイトプレート」の開

発を行いました。また、樹脂断熱材の8倍も熱を逃がす木材から、その逃げる熱を軽減させるために施していたノリボートと云われる弱熱伝導下地材は、断熱性能が高く難燃対策を施した硬質ウレタンフォームの断熱ボード「ファースボード」に仕様変更しました。

義務化になるはるか以前よりシックハウス対策として施工していた健康空気循環システム「AIキット」は、幾多のバージョンアップを重ね、現在は各機器の操作他、温度状況のモニタリングやメンテナンス管理が容易にできるタッチパネルへと発展しております。

輻射冷暖房を行うため、天井裏に細工を施し高機能エアコンを設置する事でエアコン一台の全館輻射冷暖房を立証し、これにより設置費用やメンテナンスコスト、エネルギーコストも半分以下にまで削減致しました。

温度差が少なく空気がきれい、冷暖房費が安く耐久性が高いといったメリットのある省エネ住宅ですが、住宅性能もさる事ながら住む人の健康を保持し医療費削減に寄与する事にも省エネ住宅は大きく関わってくるようです。

これから増築やリフォーム等を計画される方には、毎日の生活に使用される冷暖房機器や給湯器等の進化した設備機器の導入で、更なる生活エネルギー消費量の削減を意識していきましょう。

「ファース工法」は、住む人の健康と省エネに大きく貢献する温熱性能の高い家づくりを継続して提供できるよう、これからも住宅業界をリードして参ります。

「住む人と 幸せを分かち合う 家づくり」

(著 久保田公明)

幸太の知恵袋

まな板のにおい消し

毎日使っているまな板、だんだん生臭いにおいがついてきちゃうよねえ。熱いお湯をかけても、生臭いにおいはとれやしない。生臭いにおいを消すにはね、こんなふうにしてごらん。まな板にショウガの切り口を当てて擦るんだよ。これで大丈夫。

建築情報や知識は、ファース本部公式サイトで！



ファースの家

検索

